

September

2012

Kalimpong Times



皆さん、こんにちは！ Kalimpong Times 9月号です。9月下旬になってようやくビザが発給され、プロジェクト関係者は胸をなで下ろしたところです。今月末にはカリンポンに戻って、現地スタッフと共に本腰を入れた活動が始まります。現地はまだ雨季が続いていますが、私達が太陽を連れてカリンポンに乗り込みたいと思います！！

まさか、夏の終わりまで日本で活動するとは全く予想もしませんでした。カリンポンでは現地スタッフが村の視察や10月から始まる研修の準備を行っています。彼らと密に連絡を取り合うことで、プロジェクトを柔軟に進めています。

現在現地スタッフは、9月末から10月初めにかけて行われるイチゴの定植に向けて、苗の世話を追われています。品種は日本の「とよのか」です。昨年はそのイチゴに関する大きな事件がありました。ある日、事務所の隣にある学生寮から、小さな子供達が数人やって来て、イチゴを盗んだのです。しかし、杉本プロジェクトマネージャーにその瞬間を目撃され、御用となりました。罰として、1週間学校が終わって事務所敷地内の草取りをすることになり、子供達は反省しながら草取りを行いました。カリンポンでイチゴを栽培しているのは私達だけで、町でも、限られた食料雑貨店でしか購入する事ができません。子供たちがイチゴを食べたい気持ちも分かりませんが、「ここは厳しく」といったところでしょうか。

今年の苗数は昨年の倍近くの約800あり、一つ一つの苗を大事に育てています。収穫は12月から始まり、4月もしくは5月頃まで続きます。そのためにも強い苗を育てることが大事です！



写真1 定植に向け栽培中のイチゴの苗

皆さんがイチゴと同様に気になるのは・・・そう！！日本米ではないでしょうか！6月に田植えをした村では、すでに穂が出て、元気な稲に成長しており、今月末には収穫できると思います。皆さん、もうすぐ新米ができますから、もうちょっと待っていてください。さらに、昨年収穫した日本米とカリンポン産の大豆を使って作った味噌ももうすぐ完成します。私達は日本米だけでなく、味噌の味にも自信を持っています。この味噌を使ったお味噌汁は最高に美味しいとの評判です！



写真2 Sakyong 村で栽培中の日本米



写真3 Sakyong 村で日本米栽培を行う Mr. Gopal パチンコで鳥追いをしている



カリンポンで9月と言えば、もうすぐ雨季が終わり、過ごしやすい日本の秋のような季節がやってくる、という時期です。さらに10月、11月と次第に空気が澄んできて、世界三大峰の一つ、カンチェンジュンガのお目見えという流れになります。11月には、ページトップのような素晴らしい景色がほぼ毎日見られます。私達のプロジェクトのカウンターパートである、Dr. Graham's Homes Schoolの校庭から、この景色を目にすることができます。子供たちは、この山々に見守られながら、純粋な心を持って成長していきます。

ここで、皆さんにカリンポンの事をより知ってもらうために、村の生活をご紹介したいと思います。今月はSangsay村です。(地図がなくすみません)



カリンポンには竹が至る所に生えており、村では、竹を利用して作った籠や野菜・花栽培用のビニールハウスが色々な所で見られます。もちろん、タケノコも豊富です！

写真4 竹細工職人



写真5 元気な年齢不詳のご婦人

写真5は薪拾いをする元気なご婦人です。



写真6 ご婦人の家のキッチン

写真6はご婦人の家のキッチンです。ガスや電気はないですが、鍋を2つ同時に使えるかまどがあります。皿やコップは綺麗に整頓されており、使いやすいキッチンという印象です。村のキッチンはこのような作りが一般的で、立ったままかまどが使えるように工夫された農家もあります。

村に電気は通っていますが、安定していないので、停電は常日頃です。テレビがない分、家族やコミュニティ間の会話が弾み、日頃の生活においても絆を確認し、それを深める場がたくさんあります。

日本の古きよき時代がここにはあります。生活するのは大変かもしれませんが、家族や近所同士が助け合いながら、一日一日を笑顔で過ごしています。田舎っていいな～と思えます。

さて、来月号では日本米収穫特集を予定しています。皆さんに早くおいしいカリンポン産日本米をお届けしたいです。待っていてくださいーい！！

カリンポンやJCKのこういった情報を掲載してほしい！などご意見・ご要望がありましたら、以下の連絡先までご連絡よろしくお願ひします。

花田博之(JICAプロジェクト現地調整員)

携帯電話:09733020382

(現在日本ですので、ご連絡はEmailでよろしくお願ひします。)

Email(花田): rhppkalimpong@gmail.com

Email(現地スタッフ Mr. Prabir S. Rajwar): yamaflora@sify.com